



第3グループ 19人

(日野小4人・延徳小7人
・豊井小5人・永田小3人)

サルなどの動物の対策について



小林拓翔 議員
(日野小)

《質問》 私たちの学校は裏山に近く、その山から野生のサルやイノシシが下りてきて畑の作物を荒らします。学校の周辺では、電気柵で畑を守っていて、低学年にとって危険になることもあると思います。自然や野生動物も大切にしたいけれど、山間地で農業する人たちの生活も守っていききたい。そのため、これからどうしていくのか、私たちに協力できることなどがあつたら、教えてください。

《答弁》 池田市長

市では、有害獣から農作物を守るため、猟友会の皆さんと協力し、わなや捕獲檻を設置したりして有害獣の駆除を実施しています。また、農地へ有害獣が侵入しないように、広域電気柵も設置していますが、電気柵には高圧の電流が流れているので、近寄らないよう十分注意し、低学年の児童にも教えてもらえるとありがたいです。更に被害が少なくなるよう、餌となる生ごみなどを農地へ捨てないよう、農家の皆さんと一緒に取り組んでもらいたいと思います。

中野市の観光スポットを増やしてほしい



樋口静香 議員
(延徳小)

《質問》 中野市には、観光スポットが少な過ぎると思います。有名になるような観光スポットとして、私たちの延徳小学校の周りにも新保豊田神社のクヌギや、桜沢の八生のカヤなどがあります。ほかにも新しい観光スポットとして、山に「自然」をテーマにしたアスレチックを作ってみてはどうでしょうか。検討お願いします。

《答弁》 池田市長

中野市には、日本人形資料館、中山晋平記念館、高野辰之記念館や、一本木公園など、多くの方に訪れていただける施設のほか、キノコやブドウ、中野市生まれのリング「秋映」など、多くの特産品があります。市内には、観光施設文化施設など、多くの施設がありますので、今のところ新しく観光施設などを造る計画はありませんが、新保豊田神社のクヌギのほか、市内には文化財も多数あり、そこを巡っていたりすることも本市の魅力を知っていただく一つの方法だと思いますので、PRの方法を考えていきたいと思います。

新型テレビかタブレットを学校に



瀧澤菜々美 議員
(永田小)

《質問》 私たちの学校のテレビはアナログ方式で、地デジ対応していません。そのため、テレビが見れません。ぜひ、各教室にも配線し、4Kのテレビを入れていただきたいです。難しいようでしたら、タブレットを一人1台配っていただきたいと思います。タブレットが使えれば、インターネットもできるので、授業で使ったりできていいと思います。

《答弁》 小嶋教育長

地上デジタル放送への移行に伴い、学校のテレビをデジタルテレビに変えてしまうと、校内放送が見れなくなってしまうという問題があつたため、その対応策として、教室に電子黒板機能の付いたプロジェクターを設置していくことに決め、各学校へ順番に設置をしています。またタブレットについては、豊井小学校の稲田さんにお話ししたように、各学校へ順番に整備を始めました。すぐにいろいろな機器を整備することは大変難しいことですが、皆さんが楽しく充実した学習ができるように、整備を進めていきたいと思います。



第4グループ 19人

(日野小4人・延徳小7人
・豊井小5人・永田小3人)



道路に歩道をつけてほしい



池田 智 議員
(日野小)

《質問》 更料入り口から、日野小・間山に向かう道は歩道の少ない道です。また、雪の日などは、道路がすべったり、雪でせまくなったり、雪で危険になったりしています。間山にはぼんぼこの湯もあって、車の行き来もあり、坂道なのでスピードが出ます。安心して過ごせる歩道を作ってほしいと思います。

《答弁》 池田市長
市では、誰もが利用・通行しやすい道路にするため「やさしい歩道づくり事業計画」を定め、歩道がない道路には歩道を付け、段差がある所は、段差の少ない平らな歩道に作り替えています。現在は、歩行者などの通行が多い市街地を中心に整備を進めています。質問の道路については、歩道がない部分があり危険なので、違う道を通って通学してもらっています。少しずつですが、順番に整備を進めており、歩道ができるまでは、遠回りになり大変だと思いますが、車などに気を付けて安全に通学していただければと思います。

川がもつときれいになるような工夫を



西澤奏都 議員
(延徳小)

《質問》 多くの通学路には、川があります。その川にはゴミがたくさん捨ててあります。中野市は自然がたくさんある素敵なところなのに、川が汚れていると印象を悪くしてしまうので、川がもつときれいになるような工夫をしてください。川がきれいになったら、川の水で水遊びをしたいです。また、川の汚れは生き物の命や環境問題にもつながっているのです、このことも考えてほしいです。

《答弁》 池田市長
市では、川や水路へゴミを捨てられないようにするため、定期的にパトロールやポイ捨て防止の看板を設置するなどしていますが、残念なことに、マナーを守らない一部の身勝手な迷惑行為により、川や水路にゴミがたくさん捨ててあることがあります。西澤さんが言うとおり、中野市は自然がたくさんある素敵なところですので、川もそうです。自然を大切にしたいと思う人が増えるように、市としても、いろいろな方法を考えていきたいと思っています。

シルバーウィークがなくなっても秋休みをつくってほしい



津金颯汰 議員
(豊井小)

《質問》 秋休みを追加してほしい理由は3つあります。今年、シルバーウィーク(以下・SW)がありました。2学期は長い学期なので、SWが入って気持ちがいいので、SWが入って気持ちが増え、体力をのばすことができます。3つ目は、秋休みで好きな本を読むことができます。全国学力テストの結果でも、読書をしている人は点数が高い傾向があるので、秋休みをつくられた方がよいと思います。

《答弁》 小嶋教育長
SWは、毎年あるわけではありませんが、津金さんのご提案のように、SWの頃は、運動や読書をするのに気持ちのよい時期で、連続のお休みでリフレッシュができることと良いことが多いかもしれません。学校の授業日数や休日は、校長先生が決め、夏休みやそのほかのお休みをいつにするか決めていきます。お休みについては、また校長先生たちにお話をして、秋休みをつくることかどうか検討してみたいと思います。

